



小国町立小国中学校

令和 4.12.15 (木) No27

文責 狭間卓史



「森と海・・・つなぐ、つながるSDGs」

12月9日(金)、本校8年生が、長崎県壱岐市立勝本中学校の研究発表会にオンラインで参加させていただきました。

今回の交流のきっかけは、本校が昨年度参加した壱岐市立石田中学校とのオンライン交流会にあります。その石田中の校長先生が今春の異動で勝本中に赴任されたのですが、その赴任先の学校が本年度、長崎県教育委員会の研究校指定(SDGs学習)を受けていたとのことから、発表の中に小国中との交流を是非取り入れたいとお誘いがあったて実現したものです。

これからの時代、今まで以上に求められる力の一つが、自分の思いを限られた時間の中で、いかに的確に、いかに効果的に伝えていくのかというプレゼンテーション(表現・提示)力です。この力を身につけるには、実際にそういう経験を積み重ねていくことが何よりも効果的です。

また、本校が取り組む「SDGs学習」を軌道修正し、更に高めていくためには視野を広げる必要があります、勝本中との交流は実にありがたい学びの機会でした。

この日に合わせて、8年生は一学期から取り組みを重ねてきました。それぞれの周囲の環境に目を向けた両校の取り組みですが、豊かな森や清流を守ろうとする本校の取り組みと、豊かな海を守ろうとする勝本中の取り組みは、つながっていることを実感出来たようでした。

2年間の交流を経験した生徒にとっては、勝本中や石田中の生徒が大切に守ろうとしている壱岐市の豊かな海をいつの日にか体感してみたいと思える時間となりました。

「自分と家族の命を守る」

12日(月)、校内において「薬物乱用防止教室」を開催しました。講師としてお招きしたのは「熊本機能病院」の藤本 恵子 看護師でした。

この日の学習は「タバコについて考えよう」と題しての講話でした。タバコは薬物の中でも入手しやすく、広く出回っている現状にあります。講話前には「タバコって薬物？」とつぶやいていた生徒も、学ぶ中でその危険性や怖さについて考えを深めていきました。ご家庭によっては喫煙習慣があるご家族の方もいらっしゃるはずですが、本校職員にも数名います。タバコがもたらす健康被害がいかに大きいか、それは喫煙する本人はもちろんのこと、同じ場に居合わせる大切な家族に対しても影響することです。学習後の生徒の中には、「家族がタバコを吸っているのが心配」、「タバコのせいで家族と一緒に居る時間が短くなるのはいやだから(喫煙を)止めようと思う」等の感想が記されていました。この日の講話内容を、是非、お子さんと話題にされてください。それがどなたかの喫煙習慣を改善することにつながれば嬉しいです。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。



【植林活動でお世話になった時松さんと】



【精一杯の思いを込めて発表しました】



【遠く離れていても願いは同じ】



【講師の藤本看護師】



【大切な命を守る選択を】